

支部のとりくみさまざま

CU 東京の運動そのもの



CU 渋谷支部定期総会後に行われたバーベキュー交流会（2026年6月21日）

◆支部総会から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

台東支部

「ほんとは団交したかった」

2026年6月6日（土）13:30 より
於・上野 神吉町会会館

6月6日土曜日、遠藤知子執行委員長の地元町会の会館をお借りして総会を開き、過半数の17人が集まりました。公共施設と違ってずいぶん前から予約できる上、飲み食いの制限ありません。安い費用で交流会も考えると、町会会館を借りるメリットは大きいのです。下町台東の労働組合らしくもありますね。

遠藤さんが、50人の組合にしましろうと委員長あいさつ。活動報告や会計報告は型どおりしつつも、参加者全員に語ってもらうことを重視しています。

目の前には、すでに料理も用意されているので、すみやかに懇親会に移行しお酒などをたしなみながら、全員が争いの現状や、現在の近況など報告してくれました。

フィリピン籍の組合員は、お国の家庭料理を用意してくれました。二人いるのですが、一人は日本語が不自由なので、みんなの発言を聞くのがつらかったかもしれません。

ひどいセクハラにあい声が出なくなってしまう

た組合員は、組合に入って会社と交渉していることを紙に書いてもらい、代読しました。

すでに東京地裁で裁判が始まった組合員も決意を述べ、傍聴に来てくださいと訴えました。80歳を超えても警備会社（建設現場の歩行者誘導）で働いている組合員も、労災事故の補償で会社と交渉しています。一時金で不当な扱いを受けた組合員は、労働組合の団交申し入れに対して、会社があっさり要求を認めたため、団交をしないまま解決してしまいましたが「ほんとに団交したかった」と話していました。

組合費だけ収めている組合員はなかなか顔が見えなくて心配なのですが、総会と年に一度の交流会に参加してくれるだけでも安心です。



台東支部新役員

執行委員長	遠藤知子
副執行委員長	寺山邦裕
書記長	山田三平
執行委員	東坊城真長
執行委員	白滝 誠
執行委員	登尾純一
執行委員	阿部美紀子
会計監査	東坊城敦代

渋谷支部

「何度もくじけそうになったが…」

2026年6月21日（土）14:00より
於・笹塚区民会館2階会議室

6月21日（日）笹塚区民会館にてCU渋谷第15回支部総会を21名の参加で開催しました。井上委員長の開会挨拶に続き、来賓のCU東京高島副委員長から「円安による輸入品の値上がり、戦争による資源確保の不安定な状況など、物価高騰が

私たちの生活を苦しめている。労働組合の役割は大きくなっている」と挨拶がありました。

議案・決算予算案の提案のあと、討論では6名の発言がありました。「韓国では労働者が立ち上がり政権を転覆させた。日本でも市民運動的に広まった国会前抗議行動で組合が存在感を示している」「再審法が国会で審議されているが、検察中心の政府案になったらとんでもない」「ジョヴィアル争議は、3年間に及ぶ争議に何度もくじけそうになったが、みなさんの支えで続けてこられた。すっきりしないことがまだあるが、終結できて今はホッとしている」「山本住設で勤続20年の組合員、会社は法律を全く知らず、残業代が全



く支払われていない。本人は身も心も疲れ果てている。消滅時効により3年分しか残業代未払い請求できないが、それでも大きい額になっている。これから裁判闘争が始まるので支援を！」などの発言がありました。議案の採択・役員の選出、団結頑張ろうで総会は閉会しました。

総会后バーベキュー交流会（渋谷集会プレ企画）をガーデンテラス笹塚にて開催し、CU渋谷の組合員を含めた37名（お子さん4名含む）の参加者とともに、大いに交流を深めました。

渋谷支部新役員

執行委員長	井上敬亮
副執行委員長	松浦由紀子
	海崎治代
書記長	田辺勝彦
委員	伊藤栄江
	丹野典子
	高田京子
	荒井桂子
	大能清子
	田中広喜
会計監査	田中重一

港支部

「雇止め」撤回の経験艇に

2026年7月11日(土) 15:00より

於・港区立産業振興センター会議室



CUみなとは7月11日(土)港区立産業振興センターの会議室で第17回定期総会を開催しました。全組合数の過半数、38人(委任状を含む)が出席し、総会が成立したもとで行われました。

総会にはCU東京から白滝書記長、港区労連から清水議長が来賓として参加し、激励のあいさつを受けました。

総会ではCUみなと池田委員長が労働相談や古川橋病院「雇止め」裁判で「雇止め」を撤回させ、無期転換を勝ち取ったことを報告。港区は大企業や外資系の企業が多く存在し、外資系企業が日本の法律を軽視して「雇止め」を行う企業や企業の代表電話をAIで行っている外資系企業などと相談も複雑になっているなかでのたたかいに触れて挨拶。

議案は高橋書記長が報告提案。この1年間取り組んできた団体交渉や裁判、都労委の取り組みを紹介し、現在も作業中にケガをして労災と休業期間中の社会保険料の請求で交渉している派遣労働者や身障者で採用され、体調を崩し休暇中で嫌がらせを行っている派遣労働者(エンジニア)、発達障がい者の作業所での「雇止め」、外資系企業の「雇止め」裁判と不当労働行為の都労委などの取り組みを報告。方針では引き続き、未解決案件の取り組みや労働相談活動を中心に「CUみなと規約」改定の検討や予算案を提案。

討論はCUみなと厚生会分会が古川橋病院の「雇止め」を撤回させ、無期雇用を勝ち取った報告や財政では組合費だけではなく財政を強化する

ためにカンパ活動の提案などの発言がありました。16期活動、決算、17期活動方針、予算が採決されました。次期役員体制は以下のとおりです。

港支部新役員

執行委員長	池田孝治
副委員長	川崎 悟
	小川 均
	岩渕美和子
書記長	高橋 孝
執行委員	染谷ふみ子
	小林悦子
	山本貴智 ^{たかさと}
	水谷 茂 ^り
	栗 立
会計監査	氏家康行

文京支部

多彩な活動通して拡大を

2026年7月11日(土) 13:30より

於・文京区男女平等センター研修室

2026年7月11日(土)午後から、コミュニティユニオン東京文京支部第17回定期大会が行われました。定期大会では、活動報告、労働相談報告、会計報告、活動方針、予算案、規約改正の提案が行われ、活発・熱心な討論・議論が展開されました。議案は全て可決・承認されました。新執行部も新たに選任されました。

来賓挨拶としては、コミュニティユニオン東京



本部の佐藤義見委員長から「相談活動やレクリエーションなど多彩な活動を通して、さらなる発展を」などの激励の挨拶などを。また、日常的にお世話いただいている、文京区労協の大谷昇議長から「10名からスタートしたコミュニティユニオン

東京文京支部が、100名を超えている。さらに活発な活動をお願い致します」との挨拶をいただきました。定期大会終了後に、文京区労協事務所に移動し、20数名の方々が参加しての懇親・交流会を行いました。

文京支部新役員

執行委員長	益子 茂
副委員長	伊藤 弘
書記長	小川富弘
書記次長	赤澤一嘉
書記次長	湯本弘美
執行委員	大原 薫
	熊崎徹典
	坂本尚子
	佐々木早苗
	須賀和男
	鈴木志麻
	寧 茜
	宮越 章
	吉田美佐子
会計監査	鈴木七生子
	見上郁子

会員からは「一度見たかった!」「良かった」と感想。見学後はお楽しみ・交流会。美術館から徒歩5分の有楽町の居酒屋さんに移動して冷たいビールで乾杯! 集まった組合員の中には今月に加入した仲間や地域労組こうとう結成以来の仲間などはじめて会う人も多い中、すぐにうちとけて話が弾みました。



まじゅう

名画を愉しみ 喉を潤す

三菱一号館美術館見学と懇親会学

地域労組こうとうは7月12日、2年ぶりに組合員交流会「三菱一号館美術館見学と懇親会」を行い、過去最高の35人の仲間が参加しました。

三菱一号館は1894年に三菱が事務所として建設、1968年に解体されたのち、2009年に当時の設計図や保存されていた部材を使って復元、2010年に美術館が完成しました。東京駅丸の内南口から徒歩5分のアクセスで赤い煉瓦づくりの建物は周りの近代的なビルの中でひときわ目立つ建物です。当日の展示は「カフェに集う芸術家——印象派からゴッホ、ロートレック、ピカソまで」。集まった組合員はゴッホやマネ、ピカソの作品やリトグラフの作品に見入っていました。久しぶりの交流会でしたが、参加した組

お知らせ

CU 東京の助け合い共済 入院共済に
終身加入できます

CU 東京は6月27日開催の第18回大会で、組合員加入資格と共済制度を改定し、入院共済の加入について年齢制限を撤廃しました。

2026年8月1日以降の加入者にはこれが適用されます。それ以前に加入されている方には現在ご案内を逐次郵送しています。入院共済に加入を希望される方は書類の到着をまって、同封のハガキにてお申し込みください（書類の到着は9月初旬になる場合もあります）。

CU 東京の助け合い共済
右二次元コードから→

